

糖尿病 ワンポイントアドバイス —シックデイの対応について—

★シックデイとは？

糖尿病の患者さんがさらに他の病気になった状態をシックデイといいます。他の病気とは、骨折、外傷など外科的なものも含め様々なものがありますが、今の季節ですと、風邪、インフルエンザ、胃腸炎などが心配です。

★糖尿病があると、なぜ病気が重症になりやすい？

私たちの体にとって、病気は大きなストレスです。このような時には、体はいろいろなホルモンを出して、病気を克服しようとしています。

そのホルモンの一部は血糖を上昇させ、血糖を下げる唯一のホルモンであるインスリンの分泌や働きも一時的に抑えます。インスリンが慢性的に不足状態にある糖尿病の患者さんの体内では、インスリンの作用不足が一層進んで、さらに血糖が上昇します。

また、食事がとれなくなったり、発熱や下痢が続いたりすると、脱水になり血液が濃縮されるので、これも血糖を上げることになります。

こうしたいくつかの要因が重なるため、糖尿病の患者さんが病気になると、インスリンの分泌が抑制され症状が重症化しやすいのです。

糖尿病があると、ちょっとした変化にも柔軟に対応できにくくなります。そのことを忘れないようにしたいものです。

★基本的な対応はどうすればよいのでしょうか？

- (1)温かくして、安静にしましょう
- (2)食事や水分、電解質をできるだけとりましょう
- (3)必要な検査をして、現状のチェックをしましょう
- (4)主治医に連絡をとって、早めに対応しましょう

★シックデイのとき糖尿病の薬はどうすればよいのでしょうか？

シックデイの状態では、食事が摂れるか摂れないかによって、経口薬やインスリンの投与量が変わってきます。

その様な場合はそのまま服用・投与せずに、主治医または病院スタッフにお問い合わせください。

(副薬剤科長 伊藤 誠紀)

「春の こども一日肥満教室」 開催のお知らせ

平成21年3月30日(月)と31日(火)の2日間、三重病院において「春のこども一日肥満教室」を2回開催いたします。小中学生を対象として、肥満によってみられる健康障害の有無を診断し、本人と家族の肥満解消方法を学びます。申し込みの締め切りは3月16日です。

★詳しくは、当院ホームページ または、3病棟看護師長 松下・小児科 井口まで

三重病院 外来糖尿病教室

2月開催のお知らせ

- テーマ 「糖尿病骨減少症～骨折を防ぎましょう～」
- 日時 平成21年2月25日(水) 14:00～15:00
- 場所 国立病院機構三重病院 研修棟
(外来棟向かって左側の建物です。詳しくは職員にお尋ねください。)
- 担当 荒木医師
- 参加費 無料 どなたでも参加していただけます

[内容]

骨粗しょう症の
予防についてお話しします。
また、骨密度の測定も
行います。

お問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構
三重病院 内科外来窓口